

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日		記入者	照井康之	連絡先	5166	
平成18年度部名	教育総務部	課名	学務課	課長名	入江建夫	
平成19年度部名	教育環境部	課名	学務課	課長名	須藤由徳	
事務事業名	各種教育研究大会等分担金					
予算上の事務事業名	各種教育研究大会等分担金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
「相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則」						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
各種教育研究大会の市負担金及び学校分担金等を負担することにより、大会及び研究会の促進・教育の向上を目指すもの。				相模原市立小・中学校教育教育研究会他		
(3) 平成18年度事業の(活動)・・・いつどのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
(1) 相模原市立小校長会分担金：2,015千円 (2) 相模原市立中学校長会分担金：1,054千円 (3) 小学校教頭会分担金：1,105千円 (4) 中学校教頭会分担金：566千円 (5) 小学校教育研究会分担金：148千円 (6) 中学校教育研究会分担金：170千円 (7) 視聴覚研究会分担金：99千円 (8) 学校図書館協議会分担金：99千円 (9) 中学校体育連盟分担金：2,165千円 (10) 支援教育研究会分担金：308千円 (11) 市防災協会分担金：445千円 (12) 各種大会等分担金：1,342千円 (13) 幼稚園分担金：22千円 ●年度当初交付要望書の提出により分担金を交付した						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
各市とも「補助金の交付に係る規則」等により、教育関係団体への補助金が交付されているが、交付対象については、団体への運営補助から事業費補助へシフトしつつある状況にある。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	8,050	7,854	9,538	13,213	13,098	
一般財源	8,050	7,854	9,538	13,213	13,098	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	988	978	978	978	978	
事業コスト合計	9,038	8,832	10,516	14,191	14,076	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	各種教育研究大会等分担金			対象名称 と単位	相模原市立小・中学校 数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	9,038	8,832	10,516	14,191	14,076	
対象数	82	82	99	111	109	
単位あたり経費(円)	110,220	107,707	106,222	127,847	129,138	
前年度比		0.98	0.99	1.20	1.01	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	各種教育研究大会等分担金	指標式と指標の説明	相模原市立小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	82.0	99.0		
目標	82.0	82.0	99.0	111.0	109.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	各種教育研究大会等分担金	指標式と指標の説明	相模原市立小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	82.0	99.0		
目標	82.0	82.0	99.0	111.0	109.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本市の学校教育水準を向上させていくために必要な経費である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
校長会等を通じて、加入の必要性を精査し、縮小に努める。			分担金は会費的要素が強く、本市だけの取り組みはなかなか困難でなる。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			